

研究課題番号	SⅡ-6-2
研究課題名	有効性評価に資するシナリオ分析モデルの開発
研究実施期間	2020年度～2022年度
研究機関名	(国研) 国立環境研究所
研究代表者名	中島 謙一

1. 委員の指摘及び提言概要

十分に目標を達成している。現在の排出インベントリーと、各種対策の組み合わせによる削減推移、地域別の課題など全体像を明らかにした点は今後の水俣条約の履行を評価する上で重要な成果であり、国際的に発信する必要がある。気候変動と水銀の同時対策を含めたグローバルなシナリオモデルを作成し、重要な結果を得ている。水銀発生量の大きいASGMについては、実施国の不適切な水銀フローの検出法、水銀対策導入に伴う廃棄物管理や有害物質管理などの副次的影響が明らかにした点は重要な成果である。ASGMの小規模事業者の対策の国際的なメカニズム（資金調達等）の構築に関して今後、環境省とも連携しながら本研究の成果が活用されることを期待する。

2. 採点結果

評価ランク：A